

前期基本計画 平成27年度 基本施策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策：07 効率的な汚水処理施設の整備

主管課長職・氏名	下水道課長 齋藤 誠司
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の平成27年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	下水道事業と合併処理浄化槽整備補助事業のそれぞれの整備手法の特性を活かしながら、限られた財源の下で採算性を考慮した効率的な汚水処理施設の整備及び水洗化率の向上を図り、市民の快適で衛生的な暮らしと良好な水環境の保全を目指します。
--	---

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 水洗化率(行政区域内人口に対する合併浄化槽も含めた水洗化率) 単位 %	76.7	77.5	78.5	79.5	80.4	81.3	A	
			82.5	-	-	-	-	126.1	
2	幸福 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	D	
			72.3	-	-	-	-	△54.3	
	単位								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 04070100 環境にやさしく快適な下水道の整備 水洗化率(行政区域内人口に対する合併浄化槽も含めた水洗化率) 単位 %	76.7	77.5	78.5	79.5	80.4	81.3	A	
			82.5	-	-	-	-	126.1	
2	幸福 04070100 環境にやさしく快適な下水道の整備 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	D	
			72.3	-	-	-	-	△54.3	
3	暮らし 04070200 下水道経営基盤の充実 経営資本営業利益率 単位 %	1	△1.1	△1.1	△1.1	△0.7	△0.7	A	
			0.5	-	-	-	-	29.4	
4	幸福 04070200 下水道経営基盤の充実 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	D	
			72.3	-	-	-	-	△54.3	
	単位								

前期基本計画 平成27年度 基本施策方針評価書

政 策 : 04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策 : 07 効率的な汚水処理施設の整備

主管課長職・氏名	下水道課長 齋藤 誠司
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての平成27年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

A	達成した
<p>経済性、合理性、負担の公平化を目的として、施設管理の統合や、新たな事業会計制度の導入を図りました。</p>	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成27年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
<p>【重点課題】・経費及び工事コストの削減・下水道使用料や受益者負担金などの確実な回収・汚水処理実施計画見直しに係る地域別説明会及び市民との対話・他の事業に関連する公共下水道事業の実施・計画的な未普及地域の解消工事の実施</p> <p>【重点課題に対応した達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業集落排水事業の統合により、終末処理場経費の削減ができました。また、塩ビマンホール使用、発生土再利用等、引き続き経費低減に努めます。 ・丁寧な説明や納入しやすい環境形成とともに、滞納等については、関係法令に基づき厳正に対応しました。 ・希望した自治会で説明会を開催し、うち4地区では、公共下水道事業導入の可能性の調査を継続します。 	

3. 基本施策の実現に向けての平成27年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>本市では、当面、人口の急激な減少はないものと思われませんが、少子化、高齢化による年齢別人口の変化は予測されています。また自然災害の頻発、人口急増期に築造された施設老朽化の改修などの対応も重要性を増しつつあります。</p>	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>市民の皆さんに引き続き快適な生活環境を提供するためには基本施策の変更の必要はありません。</p>	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成29年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【方向性】</p> <p>適正な汚水処理を安定的に継続するためには、経営分析により、公的財源の確保や適正な使用料を安定的に見込む必要があります。公共下水道の新規整備は、市民の利便性ととともに、経営における合理性経済性を十分検討する必要があります。</p> <p>【引継事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料金の検証及びこのための下水道事業経営分析 ・年齢別人口など、ユーザーの動向分析 ・老朽化対策 ・災害対策 	

